

体育授業に取り入れる武道について

四 竈 英 夫



【質問】柔道は事故が多いことから中学校の授業に取り入れることを敬遠する学校が増えているが、事故を懸念する余り、敬遠することとは残念である。受け身を習得すれば事故は防げるはずである。

【答弁】【教育長】武道は技術的なことよりも、礼儀作法を身につけるとともに体力増進を図ることが目的かと思う。現在市内6校中5校が取り入れている。教職員への指導体制も教諭だけでなく講師も含めて研修に当たり、事故防止に努めている。

【小規模校における団体競技の部活動参加について】

【質問】小規模校においては、野球やサッカー等、団体で行う種目の部活動ができない。野球やサッカー等を希望する生徒もいると思われるが、実態をどのように把握し、生徒の希望を実現するためのどのような対策を講じているか。

【答弁】【教育長】生徒数の減少により、廃部・休部となり生徒の希望する部活動の選択余地が限られているのが現状である。しかし、これは全国的な悩みでもある。少しでも多くの生徒が希望を持つて部活動ができるよう、白石・刈田地区中体連では、合同チームの編成を認めるなど、対策に努めている。

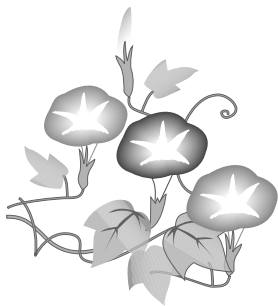
【夏休みの児童生徒の生活について】

【質問】夏休み中の児童生徒の生活について、どのような指導方針を立てているのか。

プール活動、交通安全対策、高温時の熱中症、水の事故。最近では郡部で二ホンザルが児童を威嚇したり、クマの姿を見たという情報もある。

家庭と地域との連携を含めて対策を伺いたい。

【答弁】【教育長】夏休み中は児童生徒を家庭に帰すというのが基本であるが、児童生徒の安全確保対策には各学校で取り組んでいる。プール活動には監視員を付け、部活動には顧問が付いている。交通安全についても、教員が指導に当たってほしい。サルやクマの出没については、農林課と連携をとって対応していきたい。



6月定例会より、一般質問の時、試行的に発言者席を設け、質問いたしました。(一部修正をかけております。)